

No.	質問	回答
1	くまっぷを山で開こうとしたら、電波が悪くて開きませんでした。現地に行く前に確認しておく、といった使い方の方がよろしいでしょうか？	残念ながら、当サービスは、ネットワーク回線に繋がっていないければご利用になることができません。このため、ご契約されているキャリアによっては、山間部での通信の得意不得意があるかと存じますので、ご質問のとおり、現地に行かれる前に事前にご確認されることをおすすめいたします。
2	自分の位置情報もでるのでしょうか？もしなければぜひ機能追加してほしいです。	ツールの仕様上、ユーザの位置情報を表示する機能追加はできませんでした。
3	等高線を表示するように改善されたとのことですが、簡単に変更できるのでしょうか？	作業としては、表示しているベースマップの種類を変更するのみですので簡単に変更が可能でした。
4	取組の属人化を防ぐ工夫はありますか？	①操作のしやすさ、②誰でも利用可能なツールを用いてサービスを構築する、この2点が重要かと思えます。加えて、できるだけ周囲を巻き込んで取組を進めることで、その人しかできないといった状況にさせないといった環境にすることも必要かと思えます。
5	開発ツールにPowerBIを選んだ理由はなんですか？	位置情報を地図にプロットした上で詳細な情報を表示できることが大前提でした。また、簡単な操作で修正や改修等が可能のため、担当者が変わっても保守し続けられるという利点も選んだ理由です。
6	目撃情報等のマップへの更新頻度はどの程度ですか？	これまでは、月に1度、市町村等から集約した情報を報告いただき、更新していました。そうした場合、目撃等した日から最大で1ヶ月程度のタイムラグが生じ、即時性に欠けることから、現時点ではなるべく目撃等がある度にご報告いただき、都度更新するよう改善を図っています
7	公開までにどのような手続きが必要でしたか	情報提供者でありクマ出没対応の主体である地元市町村と、公開方法や公開内容についてのすり合わせを行いました。くまっぷ完成後は局ダッシュボード担当へ庁外公開URLの発行を依頼しました。
8	取組に対し、消極的・反対するような方はいましたか？	クマの出没情報、特に捕殺の情報は非常にセンシティブであり、ハッキリ分かりすぎてしまうことに対する心配の声がありました。
9	事業の効果検証や評価指標は、どのように考え、設定されましたか？	くまっぷ公開前後でHPの表示回数の変化や、アンケートによって効果を検証しました。
10	同種のクマなのか、またそのクマの行動範囲などはこのアプリでわかるのでしょうか	クマの個体の識別や行動軌跡などを知るためには、クマにGPSを装着しなければ把握することが困難です。本サービスでは、そういった対応はしておらず、そういった情報は分かりかねます。本サービスは、あくまでも各市町村でクマに関する目撃等の情報があつた場所を座標値ベースで地図上にプロットしているものとなります。